

講師 en 代表 高野しのぶさん(助産師)

～全ての学校教育の授業で性教育を～

保育園から大学までの子ども、保護者、教職員を対象に性教育の出張授業、講演を2019年から開始。

142公演合計 28099名が参加。

三人のお子さんを持つお母さんとしての顔を持つ。

助産師として22年勤務。

自分の命、友だちの命が大事というのが性教育の基本という考えのもと、子どもたちに命の大切さはもちろんのこと、

性に対する正しい知識を教え、自分で自分の心と身体を守っていく術を伝えてくださいます。



現在、性教育への社会的関心も高まっており、しのぶ先生も多くの場で活躍しています。

以下、先生の最近のご活動

- ・令和7年5月24日静岡県にて「性教育特別講演」登壇
- ・雑誌「precious(プレシャス)」、4月号にてインタビュー掲載
- ・NHK 首都圏ネットワーク「わがまちスター」出演
- ・タウンニュース港南区栄区戸塚区泉区にインタビュー掲載
- ・横浜市名瀬中学校3年生に出前授業
- ・桐蔭横浜大学2年生に講義
- ・横浜市倉田小学校4年生&保護者に5年連続性教育授業開催 など多数



生徒の感想 (小・中・高校生)

- ・生きていて嫌だなと思うことが多かったけど、生きているだけで100点満点と聞いて勇気をもらえて頑張ろうと思った。
- ・生理が来なかったら、赤ちゃんが来たのかもしれない、病気かもしれない、だから病院へ行く。高校2年生までに生理が来なかったら病院へ行く。話を聞かなかったらほっとしてしまっていたと思う。
- ・自分ばかり生理が来て大変。男は楽だななんて思っていたけど、男も射精があっていつ来るか分からないし大変だなんて思った。
- ・自分の事でも、家族や友達に言いづらいことが多かったけど、今日の話を聞くことが出来て、自分のことだから自信を持って誰かに話すことができそうです。
- ・この授業の前までは、性に関することは恥ずかしいと感じていたけれど、素晴らしいことであることが分かった。

保護者の感想

- ・大切なのに話づらい性教育ですが、高野先生の話しぶりのテンポも良く、最後まで飽きずに大人も子どもも聞いていたと思います。
- ・息子が小学生の時に「生理って何?」と聞かれたときに思わず知らないと言ってしまい、そのままにしていました。今回、親子で講義を受けたので自然に生理の話が出来て、息子も真剣に聞いてくれました。講義がなければ、学校任せで自分から話せなかったと思う。性の話だけでなく、生まれてきてくれて有難うとはなすことが出来た。親子でこのような機会を持つことが出来て感謝したい。
- ・本当に素晴らしいかったです。こんなにも心に残り、子どもの性教育・子育てに真剣に取り組まなければ!と改めて感じさせるお話がきけて良かったです。
- ・こういった講義を、全国に広めて欲しい。子どももそうだが、教育者や保護者にも必要なことだと思う。

教職員の感想

- ・話すベース、話の構成の深さがこの学年の子どもたちにピッタリだった。
- ・中学校一年を担当していますが、性に対する興味関心は様々で、無頓着な子ども達にとってはとても刺激が強い様な感じを受けました。でも正反對の子どももいました。全体としてはとてもメリハリのある内容だったと思います。命の誕生の神秘を感じ、生きているだけで100点はとても印象に残った言葉です。こうした性教育は、学校では高野さんの様な講義内容でなければなかなか難しいと思っています。家庭での教育も難しいかも知れませんが、保護者がより関心を持って欲しいです。学校で性教育を行う場合には、こうした講義が一番子どもにとっての深い学びになると自分は考えます。このご縁をこれからも大切にさせて頂きたいと思っています。